児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：2022年1月18日

事業所名：
リハビリ発達支援ルーム　UTキッズ三田

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1	利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	2名での使用時は十分なスペースを確保できています。3名での使用時は2名時と比べスペースが狭くなっています。	はい 32人	どちらともいえない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	「清潔さも安全性もしっかりとしていて安心して通える」 「同じ時間での活動は2名までなので、スペースは十分だと思います」「運動スペース。学習スペースとしっかりと確保されている」
	2	職員の適切な配置	1児に対し、1指導員がつくことで、素早く適切に対応出来るようにしています。転倒等リスクの高い児にはサブスタッフを配置しています。 また利用定員に対する人員配置基準＋1名を配置しています。	はい 33人	どちらともいえない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	「マンツーマンの指導は非常に満足です」 「子一人に対して、職員が一名担当としてついている」
	3	本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	遊戯室・スヌーズレン等、役割別のスペースを用意しており、行う活動が分かりやすいよう配慮しています。また動線に配慮し、退所時の切り替えを助けるものとなっています。	はい 27人	どちらともいえない 6人	いいえ 0人	わからない 0人	「スロープなどはありません」 「ドアの開けしめに工夫されている。段差もない」 ⇒スペースや動線の工夫により、切り替えを助けることを、事業所の空間づくりを例にだして伝えていきます。

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
				はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
	4	清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	日々の清掃に加え、口にくわえるものは使用毎に消毒をしています。また冬季には感染予防のために加湿器を使用しています。	33人	1人	0人	0人	今後も継続して、清潔で心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保に努めます。
業務改善	1	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）への職員の積極的な参画	業務改善の策定は、ミーティングを通して決定しています。児や保護者への最良の支援が提供できるよう、各指導員が積極的に意見交換をしています。					
	2	第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在外部評価委託は行っていませんが、関係機関の見学は随時r受け入れており、意見交換を行うことで、閉塞的な業務にならない様にしています。					
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	本部からの指導員派遣や内部での支援検討会、外部への研修参加を積極的に行っています。					
適切な支援の提供	1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	アセスメントは療育毎に行い、児のニーズや課題を分析します。また保護者からの「聞き取りシート」も利用し子どもの段階、ニーズを確認し、個別支援計画書を作成することで客観性を保っています。	32人	1人	0人	0人	「毎日見ている親では分かりにくい変化などもよく観察していただき、専門的な意見やアドバイスがもらえる」「保護者の希望をきいてから、状況などを考えて計画書を作成してくれます」 「本人の理解度に合っている。そるように工夫している」
	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	個別や集団等の方法論に縛られず、個々に必要な支援を個別支援計画書に記載しています。					
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	保護者にニーズを基に、児の「困り感」の解決に近い項目に優先して関わります。また、個別支援計画書には具体的な遊びを記入しています。	32人	1人	0人	1人	
	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書に沿った支援を実施しています。児の変化に合わせ、計画に縛られず、今必要な支援になるよう随時変更をしていきます。	32人	1人	0人	1人	

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供t（続き）	5	チーム全体での活動プログラムの立案	アセスメントや支援内容は、指導員同士で積極的に意見交換をしたうえで立案しています。また、その内容をチーム全体で共通理解できるように記録を残すようにしています。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日、休日、にとらわれず「困り感」の軽減に向けた支援を行っています。長期休暇時はイベントを開催し、普段では得られない感覚運動体験と家族との余暇の充実を目的とした支援を行っています。		
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	「遊び」を通じて支援を提供しているため、児に飽きが来ないよう、様々な「遊び」を提供しています。	はい 33人 どちらともいえない 0人 いいえ 0人 わからない 3人	「見学でよく見ているが全く同じ内容は一度もなく子供も毎回とても楽しみながら出来ている」「子供が飽きないように、定期的に新しいものを取り入れてくださってます」「繰り返しで覚えれる部分があるのでよい」「難しい学習内容だったら、わかる内容への理解度の変更を工夫されている」
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	担当制のため、各指導員が支援内容を確認しています。並行の児がいる場合は、互いに配慮すべき点を支援前に確認しています。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	通所の無い空き時間を活用して、担当児に対する振り返りや意見交換を随時行っています。また管理者へ支援の進行状況や相談を随時あげています。		
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	記録は、事実と考察を分けたうえで記載することで支援内容の検証・改善ができるようにしています。また、担当外の指導員が過去の記録を参照して客観的な意見を出せるようにしています。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	療育終了後のフィードバック毎に、生活のモニタリングを行っています。またモニタリング内容に対し、支援内容が合うように随時見直しをしています。		

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	相談支援員からの現状の確認や今後の方針を、電話または来所される時に児童発達管理責任者が対応しています。		
	2	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）**地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	現在は、医療的ケアが必要な方のご利用はございませんが、ご利用があった際には、保育や教育と連携した支援を進めていく予定です。		
	3	**（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）**子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	児童の主治医の連絡先や協力医療機関の情報を共有し緊急時の対応に備えています。また保護者同席の通所に限定することで、速やかに適切な対応が行えるようにしています。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校（小学部）等との間での支援内容等の十分な情報共有	移行支援の必要時、園に訪問し、情報共有を行っています。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現在対象者の利用はございませんが、必要となった際には、十分な情報提供や連携を図れるように対応します。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	児童発達支援センターの研修を受講しています。また研修補助制度による受講の促進を行っています。		

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
				はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	4日/月以下の利用回数を設定することで、園、学校で十分に交流できる時間を確保しています。また園、学校での交流を阻んでいる要因を評価し、軽減できるよう支援しています。	7人	10人	6人	0人	「コロナの時期だからできない交流などはなし」 ⇒左記にありますように、普段の生活の場にいる子どもとの接する機会が減少しないよう気をつけています。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在行っていません。					
				はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
保護者への説明責任	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用開始前に負担の説明を行っています。また、不明なことがあれば随時確認していただいて良いことをお伝えしています。	33人	0人	0人	0人	説明はきちんとありました。 毎回療育の確認、サイン。利用した日。請求書の内容も記載されている。領収書も発行されている。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画更新時に、前回の計画の進行や目標の達成度の確認を行っています。また更新した計画の説明も行い、不明な点があれば随時質問するようお伝えしています。	33人	0人	0人	1人	
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント･トレーニング等の支援の実施	保護者を集め、講義をするといった様式のペアレントトレーニングは行っていません。現在は療育終了時に、対応の確認や、アドバイスを行っています。また不定期に勉強会を開催しています。	33人	4人	1人	10人	「普段の生活の事や幼稚園での事、兄弟児との事にも相談に乗ってもらえる」 「毎回、利用後に話をする機会があり、課題について相談できていると思います」 「毎回、本日の内容の確認。家庭からの内容など、話せる時間を設けている」 ⇒対応力の向上にあたり、振り返りの時間が当てはまるとお考えの保護者様が多くおられました。継続して、振り返りの時間が充実するよう専門性を高めていきます。またペアレントトレーニングも実施できるよう準備を進めていきます。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	療育終了時のフィードバックの時間を利用して行っています。また相談は随時受け付けることをお伝えしています。	33人	0人	0人	0人	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	同上	33人	0人	0人	0人	「活動後に相談して、助言をいただいています」 「必要であれば、すぐに対応してもらえる」

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
仕・連携支援				はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在父母の会や保護者会はありません。並行利用時、保護者同士のやり取りがあります。	9人	9人	15人	0人	「今はコロナなのか、そういった交流はないです」 「活動なし。特に希望なし。」 ⇒随時、外部の保護者会や保護者主催の運動教室を紹介しています。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	ご利用前「重要事項説明書」にて苦情窓口の説明しています。	24人	9人	0人	0人	「そういったことがないのでわからない」 「その場面がないので、どちらともいえない」 ⇒疑問点やご意見、ご相談等ございましたら、その都度迅速な対応を心がけていきます
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	児の特性や状況に合わせ、視覚情報による伝達を行っています。	33人	0人	0人	0人	「保護者との話しの時間を設けている」
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	活動概要はブログを通じて行っています。予定等連絡事項は一人一人に通知を渡しています。	29人	4人	0人	0人	「あまりホームページを見ないのでわかりません。すいません」 「空き情報など、LINEを通したり電話にて確認ができる」 ⇒緊急連絡や勉強会等情報伝達がスムーズに行えるよう、メール登録を進めています
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	「個人情報使用同意書」「撮影同意書」に乗っ取り、厳重に管理しています。	33人	0人	0人	0人	「名前などが分かるものを、見えるところに管理されたりはしていないと感じるから」 「個人個人に、説明やファイルにて印鑑などの説明や連絡事項があるので、守られている。他の療育先では、複数名いる中、個人計画支援表をそのまま各自持ち帰る。など、印鑑をカバンに入れて、療育先職員にまかせて押印させているのが見え、UTキッズさんでは、そんな実態はなく、しっかりと個人情報をなされていて、安心しています」
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定しており、周知を図っています。	29人	2人	1人	0人	「感染症に関してはお手紙をもらったりしました」 「緊急時対応。これに関しては、確認させてもらいます。感染症対策は、されていると思う。」 ⇒新型コロナウイルス関連は見直しの頻度が多いた

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年2→3回職員が避難訓練を実施しています。 掲示板にて実施内容報告書を掲示しています。	はい 15人	どちらともいえない 15人	いいえ 3人	わからない 0人	め、職員間で齟齬が出ないように、情報共有を蜜にし、回覧や掲示物は見直し箇所がわかりやすいようにチェックします。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	従業者に対する虐待防止を啓発・普及するための研修を実施しています。					
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	ご利用前「重要事項説明書」にて説明しています。 現在は、毎日身体拘束の有無について確認する時間を設けており、身体拘束はありません。やむを得ない状況が発生した場合には計画への反映と十分な説明を行っていきます。					
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食事の提供はないため、実施していません。イベントで飲食が発生する場合は保護者にアレルギーの確認を行った上、飲食に同意頂ける方のみ参加していただいています。					
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	週1回のミーティング時にヒヤリハットの共有・対応策の検討を行っています。また安全管理委員会により、各事業所のヒヤリハットを統計、データー化しています。					
	17	子どもは通所を楽しみにしているか	個々の発達段階にあわせた課題を、感覚統合理論を基礎にした運動あそびに落とし込んで提供しています。「楽しみ」に通っていただけることが、結果として「出来た」を増やし自信が高まる支援を実施できている一つの指標と考えて、日々の支援に取り組んでいます。	はい 33人	どちらともいえない 0人	いいえ 0人	わからない 0人	「UTに行く日は早起きをし大好きなゲームもすぐに片付けるほど楽しみにしているとても楽しみにしています。」 「希望する限り続けたいが、契約で終了するのは残念です」 「先生たちが大好き、すごく楽しいと、毎回とても楽しみにしています」 「担当の職員との相性もよい」 「子供も楽しみにしており、楽しみながら体を鍛えられるのはすごいと思います。1つ1つの取り組みに対して、隠れた課題があるのには感心します」

区分		チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
満足度	18	事業所の支援に満足しているか	当事業所は、困り感軽減を目的とせず、困り感軽減の見通し（困り感の背景と支援方法）をつけていただくことを目的としています。 また困り感軽減のためには、事業所支援と家庭支援の協働は不可欠と考え、利用毎の見学のお願いや、背景の説明、ホームワークの伝達を行っています。 協働して支援することで、早期支援を充実させるとともに、利用が終了しても、徐々に困り感が軽減する適切な支援が継続できるようにしています。	はい 32人	どちらともいえない 1人	いいえ 0人	わからない 0人	「子どもも楽しく通えていますし、毎回終了時には丁寧な説明をしていただけるので、得意なこと、苦手なことがよく分かり、大変満足しています」 「支援はとても満足していますが、まわりにもUTキッズに行きたい子が沢山いるので、もっと教室が増えればいいなと思う」 「もう少したくさん行けるようになるともっと嬉しいですが　おおむね満足しています。行きはじめてから子供の成長をすごく良く感じるようになりました」 「しっかりと見ていただき、必要な支援をいつも有難うございます」 子どもも毎回通所を楽しみにしており、いろいろ話を聞いていただいて対応してくださるので親子ともどもとても助かっています。 ⇒１人の子どもや保護者様へ、充実した支援を継続することと、困り感をかかえた多くの子どもや保護者に対し、支援をとどけ健やかな発達を得ていただくこと、どちらも当事業所の重要な使命と考えています。